



# たき火を囲んで 薪割り大会

とき 12月1日(日) 10:30-15:00

ところ 彩工房 笠取工作所

主催 彩工房

彩工房では、「暮らしと住まい」をテーマに、日常を豊かにするさまざまな催しを行っています。12月は、恒例の薪割り大会を開催します。

暖かい炎を眺めていると、時間が経つのを忘れるものです。

こうばしいたき火の匂い、澄んだ森の空気、寒い冬もやっぱり外は気持ちがいい。

子どもは、枝葉や木くずで遊んだり、大人は木を伐って、割って、一日木こりになったような体験をしてみませんか。

パンやお芋は、焚火で焼きましょう。お昼には、温かいスープをご用意しています。

会場は、豊かな森の中に佇む工作所です。

山から伐り出された木が職人さんたちにより乾燥・製材され、強く美しい木組みが生まれていく過程を見ることができます。

木の匂いがいっぱいです。ぜひ覗いてみてください。

薪ストーブって、暖かいの？やっぱり手間がかかる？薪はどうやって集めてる？といった

薪ストーブに関するよもやま話もしていただけます。

薪ストーブをお持ちの方も、たき火が好きな方も、木が好きな方も、ぜひお集まりください。

思い思いに冬の日を楽しみましょう。

# 木を燃やす

火が燃えだすと、その場の空気が変わる。そんな気がするの、生き物の本能でしょうか。

子どもは火遊びが大好き。でも実は大人も、なかなか火のそばを離れられません。くべた木が、だんだんと燃えていく様子に見入ってしまいます。体の中からじわじわ暖まってきて、なんとも心地よい。少し気まずい人との間にも火があると、なかなか居心地がよくなったりするから不思議です。

おじいさんおばあさんが子どもだったころ、森で木を拾って運んでくるのも、燃やしてお風呂を焚くのも、子どもの仕事だったとか。もちろん火傷をします。掃除もついて回ります。

それでも火がもたらしてくれる楽しさ、美味しさ、ほっとする感じ。そんな感覚は、もっと大切なものなのかもしれません。

木が燃えて残るものは、灰。灰は畑の栄養となります。木を伐り出した後の森。そこには新たな木が芽吹きます。便利な電気やガスが広まって、私たちも、子どもたちも、森に入らなくなりました。

遠い国から燃料を買ってくるよりも、近くの森の木を燃やして暖まることは、案外賢い選択なのかもしれません。



12月1日(日) 10:30-15:00 \*雨天決行

## ■ 会場 彩工房 笠取工作所

〒601-1393 京都府宇治市二尾膳前谷 9-1

- ・京滋バイパス笠取 IC、南郷 IC から共に 5 分
- ・各インターより滋賀県道・京都府道 3 号 (宇治川ライン) を宇治方面へ、乗馬クラブ (カシオペアライディングパーク) 入口を右折すぐ

## ■ 参加費 600 円 / 名 (乳幼児無料)

- ・食器を持参された方は、参加費から 100 円引き致します。
- ・ご飯、あったかお野菜スープ、スタッフ手製のダッチオーブン料理等のお昼、おやつ、保険代を含みます。
- ・割った薪は、一家族 10 束 1,000 円にてお持ち帰りいただけます。

## ■ 定員 40 名



お申込み・お問い合わせ ▶▶▶ <http://www.saikobo.co.jp>

彩工房ホームページのお申込みフォームにて、参加される方全員のお名前とご連絡先をお伝えください。11月16日(土)より受付を開始します。



## EVENT

- 11/15 ファーヤーンの指編みリースづくり
  - 2/22 森かおるさんと美味しいお話し
  - 3月 完成見学会
- 雑誌「チルチンびと」好評発売中!

彩工房

info@saikobo.co.jp  
tel:075-632-9889  
京都市山科区四ノ宮大將軍町 15

よい家をつくる。